

令和 6 年 6 月 19 日現在

機関番号：13901

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19H01245

研究課題名（和文）ドイツ占領下フランス南部における定期刊行物と検閲制度についてのアーカイブ研究

研究課題名（英文）An archival study of the relationship between periodicals and the censorship system in Southern France under German occupation

研究代表者

重見 晋也（SHIGEMI, Shinya）

名古屋大学・人文学研究科・准教授

研究者番号：40303573

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、2015年末の大統領令によりヴィシー政権やドイツ占領時代の行政文書の閲覧が一般に公開されたことを背景に、当時のフランス南部において発行されていた定期刊行物に掲載されている文学・演劇・映画といった異なるジャンルに関するテキストを研究対象として取り上げ、それらのテキストが検閲制度などの社会的制約を生成、流通、受容のそれぞれの段階でどのように受けていたかを、アーカイブスで収集する資料を通じて明らかにした。特に、検閲当局から出された指示書の存在を確認したこと、さらにその地域間をまたいだ場合の一貫性について検証が必要であることを明らかにした点で意義深い。

研究成果の学術的意義や社会的意義

一般的に戦時時期に検閲制度が敷かれることは了解されているが、ドイツ占領下のフランスにおける検閲制度がどのように文芸誌などの作品刊行に影響したか、その全体像の把握はなされていない。本研究は第二次世界大戦期の行政文書が公開されたことに着目し、文学・演劇・映画という異なるジャンルの作品に対する検閲制度の影響を明らかにしようとするものであった。学術的には検閲制度の実態を表す「指示書」の存在を確認し、それらが地域間で異なっていた可能性を指摘した点で意義がある。また、表現の自由との関係において、社会的・制度的制約が作品刊行とどのような関係を持つのかについて考察を促す点に、本研究の社会的な意義を認められる。

研究成果の概要（英文）：The current study succeeded in presenting the existence of the “instructional notes” passed on by the Censure Central under the German occupation in France, and also in pointing out the possible lack of coherence of the instructions between the French regions. These research results are obtained from surveys, which had been enabled by a presidential decree pronounced in objective of opening administrative documentations both in Vichy regime and under German occupation, at the end of 2015. The survey took place in both public and private archives to collect documents of different genres of literature, drama and film, in order to clarify the impact of the Censorship at various process of production, distribution and acceptance of artworks.

研究分野：フランス文学

キーワード：ドイツ占領下フランス 演劇 検閲制度
ドイツ占領下フランス文芸誌
ドイツ占領下フランス映画
ドイツ占領下フランス

1. 研究開始当初の背景

第二次世界大戦中のドイツ占領下における定期刊行物については、従来レジスタンス活動との関係から非合法の定期刊行物が主に注目されてきた。しかし、合法の定期刊行物も多大な制約のもとではあるが同時期に出版活動を継続しており、それら合法定期刊行物の実態は、非合法定期刊行物の英雄的な姿に隠れてこれまで等閑視されてきた。フランスではピエール・ブルデュエに師事したジゼール・サピロや 1988 年に設立された L'Institut Mémoires de l'Édition contemporaine (IMEC) といった機関がいくつかの研究を発表してはいる。日本国内では、歴史分野であれ文学分野であれ、ドイツ占領下のフランスにおける定期刊行物を対象とした研究は殆どないのが現状である。一方で学術的研究の外に目を向けると、フランス国立図書館(以下、BnF)が 2018 年より新たに定期刊行物の公開に特化した web サイト retronews.fr を開設するなど、定期刊行物に対する関心の高まりを見て取ることができる。これは BnF による蔵書のデジタル化事業の成果であり、デジタル社会における定期刊行物のあり方を問い直すという現代的な問題意識を反映しており、定期刊行物を対象とした研究が学術的に重要なだけでなく、社会的要請に応えるものでもあることも示している。その高い学術的意義にも関わらず、ドイツ占領下のフランスにおける定期刊行物の研究が進んでいないひとつの原因として資料の乏しさをあげることができる。しかし、2015 年末に公布されたフランス大統領令により、これまで閲覧が認められていなかったドイツ占領下やヴィシー政権時代の文書の閲覧が可能となった。これを受け、研究代表者もリヨン市立アーカイブで予備調査を実施し、新たに公開された文書資料に検閲に係る文書が残されていることを確認した。

2. 研究の目的

ドイツ占領下のフランスにおける定期刊行物を対象とした研究の学術的意義は大きいにも関わらず、資料の制約が大きくこれまで研究があまり進んでいなかった。しかし 2015 年末にフランス大統領令が公布され、これまで閲覧が認められていなかったドイツ占領下やヴィシー政権時代の文書の閲覧が可能となった。本研究計画は、ドイツ占領下のフランス南部で発行された定期刊行物に掲載された文学および文学批評・演劇批評・映画批評のテキストを手掛かりにして、フランス国内の公立アーカイブはもとより各劇場や撮影スタジオで保管されている文書を調査した上で、異なるジャンルの作品が制作段階と流通段階と受容段階のそれぞれにおいて検閲制度等の社会的制約の影響をどのように受けていたかについて、収集した資料と文芸誌、フィルム映像、上演作品を詳細に比較検討することによって明らかにすることを目的としている。

3. 研究の方法

本研究では、文学的な定期刊行物に研究対象を限定し、そうした定期刊行物が頻繁に扱っている文学・演劇・映画という三つの異なるジャンルを担当するメンバーからなる研究チームを組織した。研究チームは次の三つの段階を踏まえつつ調査・研究をおこなった。

【第一段階】アーカイブ調査の段階：都市や地域圏の公立アーカイブに加え劇場や撮影スタジオなども視野に入れて文書資料を調査する。これにより、検閲等の制約が定期刊行物の発行にどのような影響があったかを、文書と現実の両方から解明する。

【第二段階】 テキスト分析の段階：前段階で収集した文書資料と照合しつつ web 上で公開されている定期刊行物の中から、Les Cahiers du Sud 誌を共通のベンチマークとして選び、その他に文学・演劇・映画を扱う文芸誌 3 誌と比較しつつ、具体的な作品や上演といった流通・受容段階における検閲等の制約の影響を考察する。

【第三段階】 研究総括の段階：社会的制約がテキストを生成し、流通し、受容するという各段階においてどのような影響があったのかを、調査したアーカイブ資料と現実のテキストとの隙間を埋めるように考察する。

4. 研究成果

- 1) 各地のアーカイブスを対象とした調査によって、検閲当局から出されていた「指示書」の存在を明らかにすることができた。さらに、研究チームが異なるアーカイブスで収集した「指示書」を比較検討した結果、対象となったアーカイブスで発行されたすべての「指示書」を完全に管理しているアーカイブスはなく、「指示書」の全体を把握するためにはより広範な調査が必要であることを明らかにしたことは、本研究の大きな成果である。
- 2) ドイツ占領下フランスにおける映画検閲の状況に関連して、ナチス・ドイツ（フランス宣伝部の映画部門）とヴィシー政府（情報省事務総局の映画局）の二つの検閲主体の間にあったメディア規制をめぐる対立構造を踏まえ、特に後者について、フランス南部のオート＝ピレネー県を例にとりながら、その道徳的検閲の実態を明らかにした。
- 3) 文学研究の領域において、ドイツ占領下のフランスで発表された作品の読解やその歴史的意義についての研究はこれまでも実施されていたが、国内外において検閲の問題をに焦点を当てる研究は少なかった。本研究によって戦争と検閲の関係というテーマに対して実証的な資料の裏付けを得ることが可能になったこと、それに加えて国内外の研究者と本研究の問題系の可能性について問題意識を共有できたこともまた、本研究の成果である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計10件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 永田 道弘	4. 巻 48
2. 論文標題 二つの空 大戦期の日仏映画比較	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 言語と文化：愛知大学語学教育研究室 紀要	6. 最初と最後の頁 29-41
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 SHIGEMI Shinya	4. 巻 -
2. 論文標題 Systeme juridique de censure et ses pratiques pendant la Seconde Guerre mondiale : autour des documents "182W 147 " conserves aux Archives du departement du Rhone et la metropole de Lyon	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 La Censure et les periodiques sous l'Occupation allemande dans le sud de la France	6. 最初と最後の頁 107-122
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yukie MASE	4. 巻 -
2. 論文標題 L'Annonce faite a Marie de Claudel sous le regime de Vichy : breve analyse des documents conserves dans les Archives departementales du Rhone (ADR)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 La Censure et les periodiques sous l'Occupation allemande dans le sud de la France	6. 最初と最後の頁 73-86
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Michihiro NAGATA	4. 巻 -
2. 論文標題 Adaptations litteraires au cinema et censure sous l'Occupation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 La Censure et les periodiques sous l'Occupation allemande dans le sud de la France	6. 最初と最後の頁 87-93
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 重見 晋也	4. 巻 39
2. 論文標題 第2次世界大戦期フランス南部地域における検閲の現実- ローヌ県リヨン都市圏図書館収蔵の 資料<<182W147>>について-	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 広島大学フランス文学研究	6. 最初と最後の頁 36-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15027/50741	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 永田道弘	4. 巻 44
2. 論文標題 シムノンと映画 『家の中の見知らぬ者たち』の映画化をめぐる	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本フランス語フランス文学会中部支部研究論文集	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24522/basllfc.44.0_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 重見 晋也	4. 巻 40
2. 論文標題 サドの読者フーコー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 広島大学フランス文学研究	6. 最初と最後の頁 41-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15027/52036	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 間瀬幸江	4. 巻 133
2. 論文標題 20世紀フランス演劇史の洞をのぞく: クリスチャン・カサドシュとは何者か	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 宮城学院女子大学研究論文集	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20641/00000596	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永田道弘	4. 巻 45
2. 論文標題 シムノンと映画 『家の中の見知らぬ者たち』の映画化をめぐる	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本フランス語フランス文学会中部支部研究論文集	6. 最初と最後の頁 105-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24522/basllfc.45.0_105	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 MASE Yukie	4. 巻 47
2. 論文標題 Sur une nouvelle mise en scene de La guerre de Troie n' aura pas lieu au Japon	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cahiers Jean Giraudoux	6. 最初と最後の頁 263-274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計4件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 3件)

1. 発表者名 Michihiro NAGATA
2. 発表標題 Cinema policier sous l'Occupation
3. 学会等名 Atelier cinematographique : Cinema et Guerre (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 SHIGEMI Shinya
2. 発表標題 Les lectures des oeuvres de Sade par Roland Barthes et par Michel Foucault
3. 学会等名 Roland Barthes << a l'ecoute du contemporain >> / Usages contemporains de Barthes (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shinya SHIGEMI
2. 発表標題 Aspect humaniste dans les Mots et les Choses de Michel Foucault
3. 学会等名 Humanismes, anti-humanismes et littérature (XIV-XXIe siècles) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shinya SHIGEMI
2. 発表標題 Les Revues littéraires sous l'Occupation allemande
3. 学会等名 日本フランス語フランス文学会
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 間瀬幸江	4. 発行年 2024年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 304
3. 書名 「『ルクレチアのために』の今日的意義 暗闇の中の手つかずの可能性」(『レトリックとテロル ジロドゥ/サルトル/ブランショ/ポーラン』澤田直他編)	

1. 著者名 Shinya SHIGEMI	4. 発行年 2024年
2. 出版社 Presses Universitaires de Provence	5. 総ページ数 176
3. 書名 "Le discours antisemite et les periodiques", (Alexis Nouss, Atinati Mamatsashvili編、Littérature et antisemitisme en temps de guerre)	

1. 著者名 Shinya SHIGEMI	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Presses Universitaires de Provence	5. 総ページ数 314
3. 書名 "L'Aspect humaniste dans les Mots et les choses de Michel Foucault", (Huguette Krief Sylvie Requemora, Lou-Andrea Piana編、Les defis de l'humanisme litteraire)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

Revue litteraires sous l'Occupation allemande http://rfsa.lit.nagoya-u.ac.jp
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	間瀬 幸江 (MASE Yukie) (20339724)	宮城学院女子大学・一般教育部・准教授 (31307)	
研究分担者	永田 道弘 (NAGATA Michihiro) (50513743)	愛知大学・国際コミュニケーション学部・教授 (33901)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計4件

国際研究集会 Atelier cinematographique : Cinema et Guerre	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 << Aragon et les revues litteraires pendant l'Occupation allemande >>	開催年 2021年～2021年

国際研究集会 Expressions littéraires et arts du spectacle et du cinema sous l'Occupation allemande : Jean Giraudoux et son temps	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 Les Revues littéraires sous l'Occupation allemande	開催年 2023年～2023年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------